

官民一体となって、暮らしに役立つ情報を！

多久市「市民便利帳」協定書調印式



▶協定書に調印を済ませ、握手を交わす
横尾市長と村田社長（写真右）

暮らしに役立つ情報の提供を目的に、多久市と株式会社サイネックスの官民協働による多久市「市民便利帳」発行に関する協定書調印式を、6月12日に市役所で行いました。

調印式には、株式会社サイネックスの村田吉優代表取締役社長、福西哲男取締役常務執行役員をはじめ、市長、副市長らが出席しました。

多久市「市民便利帳」は市の概要や各種手続きの案内など、行政生活情報を掲載予定で、共同事業者である㈱サイネックスが広告販売を行い、発行は平成24年12月1日を予定しています。調印式では横尾市長が「新しい時代の皮切りになるよ

うな情報発信を期待します」とあいさつ。村田社長は「官民一体となって新しい公共の形を実現していきたい」と便利帳発行への思いを述べられました。

夢や思いを堂々と発表しました

青少年育成市民大会&少年の主張発表会

多久市青少年育成市民会議と、多久ライオンズクラブは6月16日、中央公民館で『多久市青少年育成市民大会』と『多久市少年の主張発表会』を開催しました。

市民大会では、子どもたちの健全育成と環境美化などに貢献された古賀二区東子どもクラブ（東多久町）と古賀平子どもクラブ（同）、青少年の健全育成に貢献された、山口征子さん（多久町）、福島次郎さん（西多久町）、古賀昭代さん（同）、森久光さん（北多久町）、西山智恵子さん（同）に表彰状を授与しました。

少年の主張発表会では、市内の小学6年生10人と中学3年生5人が日頃の思いや夢について発表。その中から『笑顔の輪を広げたい』の駒井千花さん（東部小）、『今、命がある』の林口雪乃さん（北部小）、『家族の絆』の副島春花さん（西溪中）、『経験から学んだこと』の藤田優花さん（中央中）が優秀賞に選ばれました。江口吉則多久市教育委員長は、「大変素晴らしい発表でした。今日を迎えるまで先生や家族の支えがあったことでしょうか。先生や家族の愛を忘れないでください」と講評しました。



◀来場者に感動と勇気を与えた
多久市少年の主張発表会

日頃の感謝を込めて、父の日にバラの花束を！

6/15

父の日にバラの花束を贈るキャンペーンの一環として、佐賀花商組合の納富幹郎さん、黒岩千夏さんが市役所を訪れ、市長にバラの花束を贈りました。



贈呈された30本のバラの花束はアマニーという品種の黄色いバラで、生産者は東多久町の松尾俊郎さん（佐賀花生産組合）です。納富さんは「結婚記念日など、いろいろな機会に花束を贈る習慣が広がり、消費拡大につながれば」と話し、贈呈を受けた横尾市長は「素敵なバラの花束をありがとうございます」とお礼の言葉を述べました。

先人の教えを学び、読書に親しんで！

5/31

多久ロータリークラブ図書贈呈

多久ロータリークラブ（森上正成会長）は市内全小中学校へ、約10万円相当の図書90冊を贈呈しました。



森上会長は、「ロータリークラブは『社会奉仕』を活動のメインとしています。本を通して、青少年教育の手助けになればと思います。ぜひ先人の教えを学び、読書に親しんでほしいです」と挨拶。中川教育長は、「大変ありがたいです。各学校の希望に沿って選んだ図書を十分役立てていきます」と感謝しました。